

撮影・文 藪重幸
無断で複写・転載することはお控えください。

平城宮跡 野鳥に恋するミニ図鑑Plus

「野鳥に恋するミニ図鑑」で掲載できなかった
鳥や平城宮跡の自然の魅力を紹介します。

表紙の鳥 ヒヨドリ

Spring

◆春の平城宮跡について

春は鳥たちにとって最も大切な繁殖期が始まります。冬の間は森やヨシ原で隠れるように暮らしていた鳥たちも、縄張りを主張するために目立つ場所でさえずりを始め、パートナーを得るために様々な求愛行動を見せるようになります。

4月になると宮跡周辺で繁殖する夏鳥と、北の繁殖地へ移動中の旅鳥がつぎつぎに姿を見せるようになります。その頃はまだ冬鳥の姿もあるため、春の宮跡では1日で四季の鳥（留鳥・冬鳥・夏鳥・旅鳥）を観察することも難しくありません。多くの鳥たちとそのさえずりで宮跡は1年で最もにぎやかな季節を迎えます。

今回の「野鳥に恋するミニ図鑑Plus 春編」では

- ① 宮跡を訪れる旅鳥たち
- ② 鳥たちの行動（さえずり、求愛、争い）
- ③ 春の宮跡を彩る花々

についてご紹介します。

*鳥の撮影には望遠レンズを使用し、鳥との十分な距離を保っています。

◆春の野鳥観察の楽しみ方 あれこれ



1. 旅鳥を見つけよう

春は渡り鳥にとって移動のシーズンです。宮跡は北の繁殖地に向かう旅鳥の中継地としても利用されています。この季節にしか会うことのできない鳥たちを探してみてください。

- クロハラアジサシ、チュウシャクシギ、ムナグロノビタキ、コムクドリなど。

コムクドリ 4月

2. さえずりを聞こう

春は鳥たちの恋の季節です。3月になるとオスたちは縄張宣言やパートナーを探すためにさえずりを始めます。姿だけではなく、鳥たちの歌声にも耳を傾けてください。

- ヒバリ、セッカ、オオヨシキリ、ホオジロ、イソヒヨドリ、ヒクイナ など。

ホオジロ 4月

3. 行動を観察しよう

繁殖期を迎えた鳥たちは、さえずり以外にも求愛やライバルとの争いなど、様々な行動を見せてくれます。種類を絞ってじっくり観察してみるのもバードウォッチングの楽しみ方の一つです。

ツグミ 4月

4. 花を楽しもう

春の宮跡ではウメやサクラのほかにも、足元に目をやると野草たちの小さな花が一斉に咲き始めます。野鳥観察と共に色とりどりの花にも注目してください。

アオサギ 5月 (センダンの花)

1. 旅鳥たち

旅鳥とは春と秋の渡りの季節に宮跡を渡りの中継地として利用する鳥たちの総称です。宮跡での滞在日数は短いため出会える機会は多くありませんが、注意深く探してみると思わぬ出会いがあるかもしれません。



チュウシャクシギ 4月 大極門前の広場

かつては春の渡りの時期によく見ることが出来ましたが、最近では姿を見る機会がめっきり少なくなりました。

春の旅鳥たち

春の旅鳥は繁殖地に急ぐ必要があるため
宮跡の滞在日数が短い傾向にあります。



ヤツガラシ 4月 朱雀門付近
春秋の渡りの季節にごく稀に観察されます。



ムナグロ 4月 大極門付近



ノビタキ♂ (夏羽) 4月
東院庭園付近



コムクドリ♂ 4月中旬 桜並木



クロハラアジサシ 5月 水上池

秋の旅鳥たち

秋の旅鳥は越冬地に向かいますが、春に比べ滞在日数が
長い傾向にあります。特に秋のノビタキは個体数も多く
10月中は普通に観察されます。



タカブシギ 10月 水田



チュウジシギ 10月 水田



ノビタキ♂ (冬羽) 10月 東院庭園付近



エゾビタキ 10月 水上池付近



コヨシキリ 10月 推定宮内省付近
春秋に観察されますが、草むらに潜んでなかなか姿を見せてくれません。

* ノビタキ、コヨシキリ、コムクドリは一般的には夏鳥とされますが、ここでは宮跡で観察される時期を基準に考えて旅鳥としました。
このほかにコサメビタキ、ヨシゴイ、ノゴマ、ムシクイ類なども渡りの季節に確認されています。

2. さえずり

鳥の鳴声は主に繁殖期以外に聞かれる「地鳴き」と、主に繁殖期に聞かれる「さえずり」に分けられます。さえずりはオスの縄張り宣言やオスからメスへの求愛などに使われます。



キジ♂ 4月 水上池付近

キジは珍しい鳥ではありませんが、繁みの中で生活しているため目にする機会は多くはありません。ただ、春になると目立つ場所で縄張りを主張するために姿を見る機会が増えます。

「ケーン、ケーン」という鳴声とともに、「ドドッ」と翼を打ち鳴らす“ホ口打ち”をおこないます。

3月から5月にかけて宮跡は鳥たちの歌声であふれます。特にセッカ、オオヨシキリ、ヒバリのさえずりは宮跡のどこにいても耳に届くほどです。観察した鳥の数とともに、聞くことが出来たさえずりの数もチェックしてみてください。

*鳥の鳴声を文字で表現するのはとても難しいので「鳴声」は参考程度にお考えください。

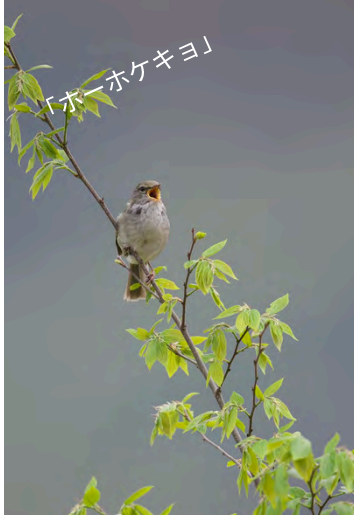
モズ



セッカ



ウグイス



シジュウカラ



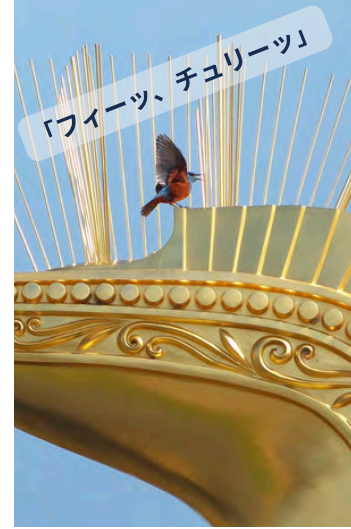
キビタキ



オオヨシキリ



イツヒヨドリ



ケリ



キジバト



ハクセキレイ



日本人にとって野鳥は昔から身近な存在でした。万葉集には鳥の登場する歌が600首も詠まれているそうです。特にヒバリのさえずりはウグイスの初音やツバメの渡来とともに春の到来を告げる風物詩として、万葉の時代から人々に親しまれてきました。



ヒバリ♂（マツバウンラン） 4月 第二次大極殿跡
ヒバリは宮跡で最も目にする鳥の一つでしたが、
近年急激に生息数を減らしています。

春のスナップ

宮跡は鳥だけでなく、
さまざまな生き物のよりどころでもあります。



芽吹いて間もないヨシ原
夏には日本有数のツバメのねぐらになります。



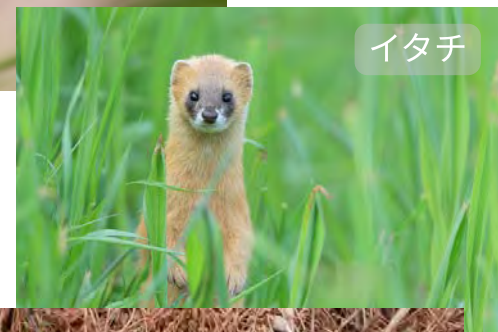
ナラノヤエザクラ



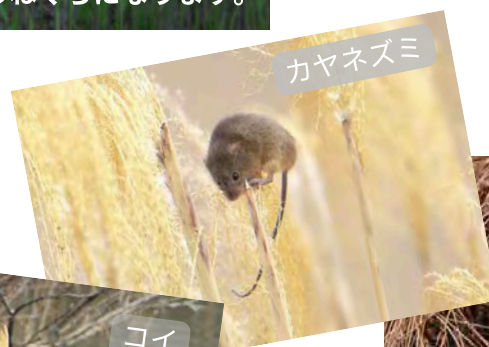
ミツバチの分蜂



キリギリスの幼生



イタチ



カヤネズミ



コイ



タヌキ



水上池から産卵のために水田へ
遡上するナマズとライギョ

3. 求愛行動

繁殖期を前にしたオスたちは様々な方法でメスにアプローチします。



モズ（オス右） 4月 第二次大極殿跡
オスはメスに寄り添って小さな声でささやき続け、
時折メスにエサのプレゼントを渡します。



アオサギ 4月 水上池
春になるとくちばしや脚がピンク色の婚姻色に変化します。オスとメスは首を長く伸ばす求愛行動を繰り返し、互いの絆を深めます。



カイツブリ 4月 水上池
求愛の際「キリッ、キリッ」と鋭い声で鳴き交わし、伏せたり絡み合ったり、複雑な求愛ダンスをします。



コチドリ (オス左) 4月 大極殿前広場
オスは巣穴の候補地を掘って、甘い鳴声でメスを誘導します。メスが穴を確認する間、オスは羽や尾羽を傘のように広げてメスを覆います。



コアジサシ (オス奥) 5月 セキスイ工場跡
求愛の際、オスはメスにプレゼントの魚を差し出します (求愛給餌)。メスが魚を受け取るとオスは嬉しそうに胸を張ってメスの周りを回ります。



キジ (オス右) 5月 東院庭園付近
オスはメスの前に回り込み、羽毛を大きく膨らませて自分がたくましいオスであることをアピールします。キジは一夫多妻の鳥です。



ヒバリ (オス右) 4月 東院庭園付近
オスはメスの周りを胸を張ってびよんびよん跳ね回ります。この写真ではメスはオスの翼の前に伏せています。

4. 争い

鳥たちの争いは多くの場合、オスとオスの間で起こります。
原因のほとんどはメスや縄張り、エサをめぐるいざこざのようです。



争いは激しくなる場合もありますが、力関係が明確になればすぐに収まるので、深く傷つけ合うことは稀です。



バン 3月 水上池



オオバン 4月 水上池



オシドリ 3月 水上池



メジロ 4月 梅林



イソヒヨドリ 3月 梅林



ヒバリ 4月 第二次大極殿跡



クイナ 3月 ヨシ原



コチドリ 5月 セキスイ工場跡



コアジサシ 5月 セキスイ工場跡

5. 花の季節

宮跡の春はサザンカに始まり、ウメ、サクラ、フジ、センダンなどが次々に美しい花を咲かせます。

百人一首六十一
いにしへの 奈良の都の 八重桜
けふ九重に 匂ひぬるかな 伊勢大輔

ツグミ（ヤエザクラ） 4月 東区朝堂院

花びらが重なり合って咲くヤエザクラ。

奈良市章に使われているナラノヤエザクラは奈良を代表する花の一つで、百人一首にも登場します。

◆春に出会える野鳥と花の観察マップ

宮跡では4月頃までは冬鳥を見ることが出来るため、野鳥観察のモデルコースは冬と同じになります（冬編をご参照ください）。このマップでは5月に入ってからの夏鳥の観察ポイント（🐦）と春の花ポイント（🌸）をご案内します。

※ 🌸：次頁掲載写真の撮影スポットもあわせて示しています。

8 八上池 農耕地 キビタキ

9 水上池 池のカモ類は4月になると数を減らします。

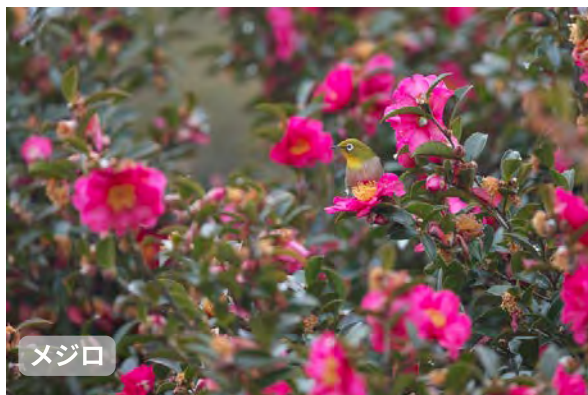
佐紀古墳群



花の種類は次のページを
チェック！

植栽のウメやサクラ以外にも、宮跡には野草たちの小さいけれど見事な花畑があちらこちらに出現します。野鳥観察のかたわらで鳥たちと可憐な花たちの饗宴もお楽しみください。

※ () は花の見頃時期



メジロ

1 サザンカ (12月-3月)



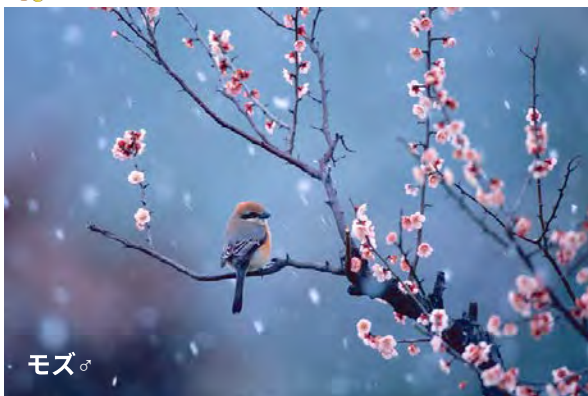
セグロセキレイ

4 シロツメクサ (4月下旬-5月)



イワツバメ

7 サクラ (4月上旬)



モズ

2 ウメ (2月下旬-3月上旬)



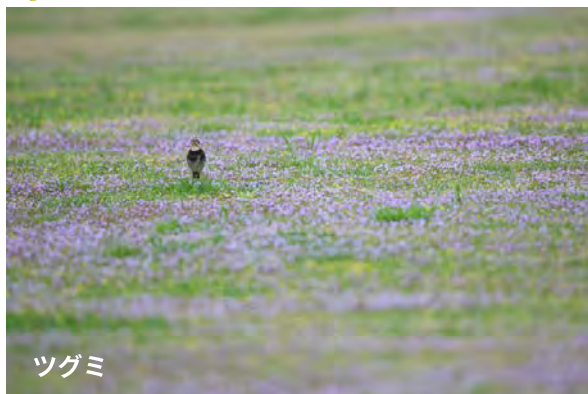
セッカ

5 ツツジ (4月中旬-5月中旬)



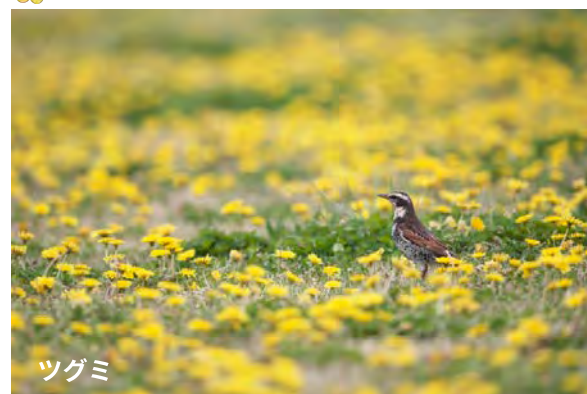
アオサギ

8 フジ (4月下旬)



ツグミ

3 ムラサキサギゴケ (4月下旬)



ツグミ

6 タンポポ (4月)



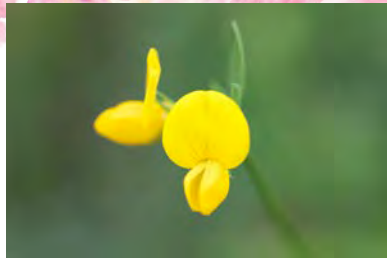
ゴイサギ

9 ノイバラ (5月)

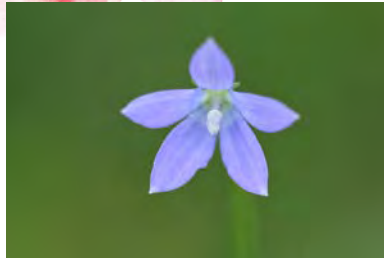
花のミニ図鑑

宮跡では定期的に草が刈り取られるために地表に光がよく届き、気温の上昇と共に様々な小さい花が一斉に咲き始めます。春の宮跡で咲く花々のほんの一部をご紹介します。

(●帰化植物)



ミヤコグサ



ヒナギキョウ



●ノヂシャ



●カラスノエンドウ



●コメツブツメグサ



アリアケスミレ



●セイヨウカラシナ (クマバチ)



●コハコベ



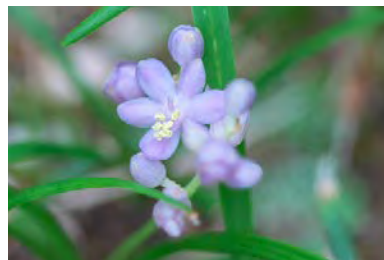
ムラサキサギゴケ



ニガナ



●ムラサキカタバミ



ヒメヤブラン



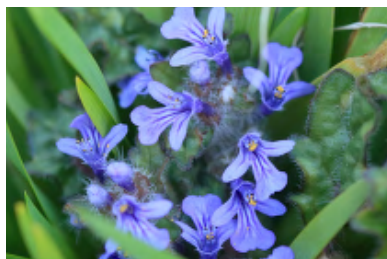
オオジシバリ



●マツバウンラン



オドリコソウ



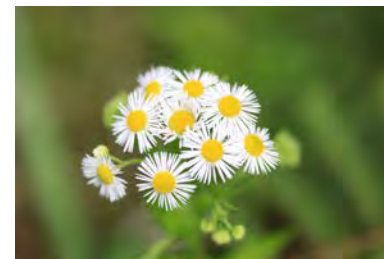
キラソウ



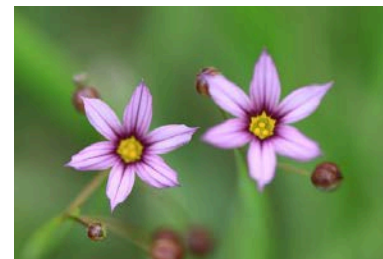
ハハコグサ



ノアザミ



●ヒメジョオン



●ニワゼキショウ

5月に入ると多くの鳥は子育ての時期を迎えます。6月には賑やかだったさえずりも徐々に小さくなり、宮跡には暑い夏が訪れます。 次回の「野鳥に恋するミニ図鑑plus」では夏鳥を中心にご紹介します。



アオサギ（ヤマザクラ） 4月 水上池
仲睦まじいアオサギのペア。
これから抱卵を経て約2ヶ月にわたる子育てが始まります。

◇おわりに

このサイトでは平城宮跡の鳥たちをご紹介してきましたが、鳥の数は少なく、しかも鳥の多くは人を見ると怖がって隠れてしまいます。そのため見たい鳥がいても見つけれないことの方が多いかも知れません。それでも多くの鳥たちがこの公園で懸命に生きています。

どうか鳥たちを観察するときは優しい気持ちで、そっと覗いてみてください。

< 野鳥および自然観察のマナー >

- ・ 野鳥との距離を保つ
- ・ 鳥の巣には近寄らない
- ・ 生き物や植物を採取しない
- ・ 生き物への餌付けなどのおびき寄せ行為をしない
- ・ 公園の定める進入禁止区域に立ち入らない
- ・ 他の来園者の迷惑になる行為をおこなわない
- ・ ゴミは必ず持ち帰る



— 鳥たちとの素敵な出会いがありますように —